



熊本県議会議員

高島和男がゆく

令和元年 11月号



れいすい杯

10月20日『第16回れいすい杯ミニバレーボール大会』を開催しました。今回の会場は地震から3年半が経過し、改修工事を終えた城南スポーツセンターでした。当日は80チーム、約400人のミニバレーボール愛好者が集まりました。特に今回、あるご縁で知り合った女性のバレーボールチーム「フォレストリヴス熊本」の監督さんはじめ選手の皆さんが応援に駆けつけていただき、来場の皆さんにご紹介しました。会場は終日フラインプレー、珍プレーで歓声や笑い声が響き渡りました。

恒例の表彰式・抽選会も協賛企業のご協力で最後まで大盛況でした。改めて参加したチーム、選手の皆さん、協賛いただいた企業に感謝申し上げます。



決意表明

9月4日から30日までの日程で9月定例会がありました。その中で最も議会、そして県民の耳目を集めたのが9日の代表質問初日、自民党前川議員の来春の知事選への対応を問われた蒲島知事の答弁でした。

歴史を振り返る際、「たら」「れば」は禁物ですが、それを承知で敢えて云えば、仮に熊本地震が発生していなければ4選出馬はなかったと思います。

私もこの4年半、地震からの復旧・復興のあり様を真つ只中で見て参りました。仮設住宅等で暮らす被災者数はピーク時から2割程度まで減少したものの、今もなお⁸⁹⁶⁸人(7月末現在)が再建を果たしていません。他にも創造的復興の新規事業として熊本空港民営化や空港へのアクセス鉄道整備といった今後の熊本の発展につながる重要な案件もあります。答弁にもありましたが、トップが変われば内容精査のため事業が一旦ストップし、再起動するには時間、労力ともに多くのロスが生じます。

確かに多選批判もあるでしょう。しかし私は蒲島知事の2期目までと地震発生からの3期目は全く異質のものと捉えています。再選を果たした次の4年間で上記の残された課題を完遂していただくためにも議員として微力ながら支えていく所存です。

高島和男事務所

届けます! あなたの思いを県政に
高島和男サポーター募集中です!

〒862-0962 熊本市南区田迎 2-17-7

TEL.096-288-6004

FAX.096-288-6009

ホームページでは写真付日記を毎日更新!

<http://takashima-kazuo.com>

Facebookもやっています!



熊本からラオスへ

ラオスは、東南アジアのインドシナ半島に位置する社会主義共和制国家で人口約690万人。経済の主柱は農業。また国土の60%以上が森林に覆われるため林業が盛んで加工品が重要な輸出品となっています。

9月19日県議会の高速交通ネットワーク整備推進特別委員会に出席しました。その中で私は来春就航を目指すラオスへ熊本線就航について質しました。



【高島】熊本に限らず日本

の訪日外国人は韓国、中国など近隣諸国に大きく依存している。特に最近では日韓関係が悪化したことで熊本へ韓国線が運休をしている。

近隣諸国は近年政情が不安定化しており、リスクの分散を図る意味でもラオス線は期待が持てる。しかしラオスは人口約690万人でこれから発展しようという国であり、インバウンドは厳しそうで日本側の利用者を増やさないと路線維持が難しいのでは？

【県】複数の旅行会社に関心を示しており、一緒に路線をPRする。県民になじみが薄い国なので認知度向上にも取り組んでいく。

【高島】今後ラオスという国を県民に周知する必要があり、県も就航時にはインバウンド、アウトバウンドへのフォローをしっかりとやっていただきたい。

農林水産委員会

9月24日、所属する農林水産常任委員会が開かれました。提出された農林水産部の9月補正予算は農地、農業用施設や山地、林道等の大雨被害の復旧経費2億4400万円はじめ5議案でした。その中の議論の極一部を報告します。

『耐候性ハウス』

【議員】農家からの希望が多い耐候性ハウスの導入状況や今後の計画は？

【県】耐候性ハウスは現時点で40ヘクタール以上で導入されている。整備には10アール当たり100万円以上かかるため今後も農家の資金力等を勘案しながら推進したい。

【議員】近年災害が多発しハウスの被害は必ず出るので耐候性ハウスの導入は今後もしっかりと対応してほしい。

『有明海への流木』

【議員】有明海に大雨や台風時に大量の流木が流れているが量は年々多くなっているのか？

【県】今年度の上期の回収・処分料は253トン。昨年同期と比べると非常に多く、主な要因は熊本地震で被災した倒木が大雨により流出したものだ。

【議員】流木でノリ網破れることもあり、可能な限り発生源の調査を行い事前の対処お願いしたい。

『豚コレラ』

【議員】豚コレラが発生し韓国ではアフリカ豚これらも発生している。県の防疫対策は？

【県】絶対に侵入させない必要性、緊急性が非常に高い。防疫先進県の名に恥じないようにどのような支援が効果的かしっかりと検討する。